

Press Release

—お問い合わせ—

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



宇土市発！全国初の“地域おこし協力隊体験”ワークショップ

— ゲーム形式で「地域活動のリアル」を学ぶ新プログラム —

宇土市地域おこし協力隊は、全国で初めて(※企画者調べ)「地域おこし協力隊の活動をゲーム的に体験できる」ワークショップを開発しました。

その名も「地域おこしエクスペリエンス」。

10月3日(金)、宇土市役所で県内の地域おこし協力隊や自治体職員を対象に初開催します。

地域おこし協力隊の活動は、着任直後に「何から始めればいいのか分からない」という声が多いのが現状です。本ワークショップは、信頼づくりから活動の立ち上げ、3年後の地域へのインパクトまでをチームで疑似体験できる仕組み。宇土市発の「ミスマッチ防止」の新たな試みとして、今後は全国への発信を目指しています。

■「地域おこしエクスペリエンス」とは

- ・協力隊の活動プロセスを“カードゲーム形式”で再現。
- ・地域の条件（人口・産業・特産品・人材など）をカードで引き、仮想の地域を設定。
- ・与えられた「ミッションカード」から活動を選び、3年間のロードマップを作成。
- ・信頼づくりや外部人材との連携など、リアルな要素を盛り込みながらチームで議論。
- ・最後に成果を発表し、地域にどんな変化を残せたかを振り返ります。

■イベント概要

日時：令和7年10月3日（金）

午前の部 10:00～12:00 / 午後の部 13:00～15:00（開場 9:30）

場所：宇土市役所 2階 会議室4

対象：県内の地域おこし協力隊、県内市町村・県職員

定員：4～8名程度（2チーム）

参加費：無料

（2枚目あり）



報道関係者各位

2025 年9月25日
宇土市役所

Press Release

ーお問い合わせー

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電 話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



■開発者プロフィール

吉田 裕史 (YOSHIDA Hirofumi)

宇土市地域おこし協力隊／ローカルプロジェクト研究所代表。

これまで福岡県庁や自治体の協力隊研修で地域づくりゲームのファシリテーションを担当。NPO経営の経験を持ち、採用企画や移住支援にも従事。

令和7年6月に宇土市へ移住し、「宇土市のポテンシャルを引き出し発信する」をミッションに活動中。

受賞歴：農水省「農村インポッシブル INSPIRE 賞」、ヤマハ発動機「まちのり★ラボ敢闘賞」ほか。

Instagram「うとぐる」：<https://www.instagram.com/uto.guru>

■本件に関するお問い合わせ先

企画者：吉田 裕史（宇土市地域おこし協力隊）

TEL：070-9128-3392

Mail：uto.yosida@gmail.com



報道機関各位

2025 年 9 月 25 日

宇土市 企画財政部 まちづくり推進課 広報プロモーション係

宇土市地域おこし協力隊(担当：吉田裕史)

「地域おこしエクスペリエンス」ワークショップ開催(10 月 3 日)のお知らせ



◆要約

10 月 3 日に「地域おこしエクスペリエンス」ワークショップ(以下 WS)を宇土市役所で開催します。企画者はワークショップの開発者である宇土市地域おこし協力隊の吉田です。地域おこし協力隊が地域活動を始めるプロセスをゲーム的に<経験>できるワークショップを開発したのは全国初(※企画者調べ)です。宇土市発のミスマッチ防止の新たな取り組みとしてワークショップを全国へ発信していきます。

◆地域おこしエクスペリエンス・ワークショップの概要

地域おこしエクスペリエンス・ワークショップとは、地域おこし協力隊が地域活動を始めるプロセスをゲーム的に<経験>できるワークショップです。総務省主催の地域おこし協力隊ステップアップ研修で使われている「地域づくりコーディネート(*1)ゲーム」(徳島大・田口太郎教授考案)に着想を得て、より協力隊の実態に近い経験が得られるよう新しく開発しました。使用カードは全てオリジナルに設計しています。

地域おこしエクスペリエンス・ワークショップの独自の特徴として、地域おこし協力隊が行う地域協力活動にフォーカスしております。対象地域を極端な過疎地域だけでなく、市街地に近い郊外、5 万人規模の市、8000 人規模の町など実際に協力隊が導入される地域の条件を反映して設定しました。

WS では最初に 4 人で 1 つのチームを作ります。カードをひいてランダムに仮想の地域を設定します。チームで地域のことについて話し合い、どのような活動をするか、ロードマップを作りながら考えます。3 年後に地域にどんなインパクトを残せるのかを想像する WS です。

【第一部】

地域の特徴カード【面積・人口・産業、地理・歴史特性、特産品、地域人材、地域の声(要望)、首長の声、自治体人材、受入体制、特筆事項】を引いてランダムに要素を決定し、その条件からどのような地域であるかを検討して、地域の想像図を描きます。地域にどのような課題があるか話し合います。

【第二部】

次に 20 種類近くある協力隊ミッションカードからランダムに 3 枚引きます。チーム内で話し合っ、第一部で想定した地域に最も必要なミッションを 1 つだけ選択します。選択したミッションで 3 年間のロードマップを作るので、地域特性に合ったミッションを選ぶのがコツです。活動を考える際、「私がやりたいこと」だけでなく、公益性をどのように担保するのも考えてください。

ミッションと活動が決まったら、さらに外部人材カード、関係人口カードからプロジェクトに参加して欲しい外部人材を任意に一枚ずつ選びます。外部人材の協力も想定してもよいです。

【第三部】

活動開始部分ではどのように地域に入っていくかをロールプレイ形式で想定して、付箋と模造紙を使って丁寧にロードマップを描きます。(ロードマップは総務省主催の地域おこし協力隊ステップアップ研修で使われているものと同じ形式です)。信頼貯金が貯まっていない間はプロジェクトが進みません。

1 年目、2 年目、3 年目とどのようにミッションが推移して、どんな変化が地域に起こるのかを対話しながら描いていきます。

【第四部】

ロードマップを描いた模造紙を用いて、最後にまとめの報告を各班の代表者(複数人も可)が行います。要点をまとめて、決まった時間内で話すことも地域活動の練習の一環です。色々あった三年間の活動を通じて地域に変化を残すことができたかがポイントとなります。

(※1) コーディネートの意味は「物事を調整すること。間に立ってまとめること」。

◆地域おこしエクスペリエンス・ワークショップの目的

「着任して何からやればいいか分からない」という声をよく聞きます。地域おこし協力隊が地域協力活動をはじめる為にはイメージトレーニングが有効です。地域おこしエクスペリエンス・ワークショップでは、より実際の場面に近い地域おこし協力隊の環境を想定しています。まずは信頼貯金をふやし、小さな成功体験を積み重ねることから活動は始まります。3 年間の活動の流れを俯瞰しながら、地域プロジェクトの立ち上げを経験することができます。協力隊 1 年目の隊員には地域協力活動のオリエンテーションに。2 年目以降の経験者には自分の活動を振り返るきっかけになるはずです。

地域おこしエクスペリエンス・ワークショップは現役の宇土市地域おこし協力隊が開発しており、まだ熊本県でしか経験できません。参加者からのフィードバックを得て、WS の改善を行い、将来的には熊本発のワークショップとして全国へ発信していきたいと考えています。

◆イベント概要

日時 R7 年 10 月 3 日(金) 10:00～12:00 / 13:00～15:00 ※開場 9:30

場所 宇土市役所 2 階 会議室 4

人数 4～8 名程度 (2 チーム)

対象 県内の地域おこし協力隊 および 県内の市町村・県職員

参加費 無料

受付 Google フォームにて

<https://forms.gle/8b5rz7tpFddGCETi7>

◆ワークショップのタイムテーブル

はじめに 挨拶・一分自己紹介・WS 説明 30 分

第一部 地域の設定～地域の地図を描いて名前をつけよう 60 分

第二部 地域おこしのミッションを考える 地域の 3 年後を想像しよう 30 分

(お昼休憩)

第三部 地域協力活動のロードマップを描こう 70 分

第四部 ロードマップを発表しよう 20 分

第五部 名刺交換&交流会 30 分

(所要時間 4 時間 00 分)



◆地域おこしエクスペリエンス・ワークショップ開発者の紹介

吉田裕史 YOSHIDA Hirofumi

宇土市地域おこし協力隊。ローカルプロジェクト研究所代表。福岡県庁で開催された地域クロスロードの研修を担当。自治体の協力隊研修で地域コーディネートゲームのファシリテーションを務めた実績があります。移住コンシェルジュとして自治体の協力隊の採用企画策定も行っています。

地域おこしエクスペリエンス・ワークショップでは、地域おこし協力隊の導入部分を経験し、地域プロジェクトをチームで考えることを主眼にデザインしました。俯瞰的に地域を見ることで、自分の活動を見つめなおすよい機会になればとの思いで開発しました。

R7.6 に宇土市地域おこし協力隊に着任し、福岡から宇土市へ移住する。福岡でまちづくり NPO、大分で少子化対策 NPO を経営する傍ら、「宇土市のポテンシャルを引き出して発信する」というミッションに取り組む。R7.7 よりインスタ「うとぐる」開始。宇土市の飲食全店舗取材して、インスタへ掲載する企画を開始。宇土の醤油や水や柑橘をテーマにしたプロジェクトにも着手している。糸田町地域おこし協力隊 OB として、福岡県の協力隊の後進の相談業務にもあたっている。福岡県庁の協力隊研修ではクロスロード WS のファシリテーションを実施。趣味は阿蘇バイクツーリング。

受賞歴：農村インボッシブル INSPIRE 賞(農水省主催)、まちのり★ラボ敢闘賞(ヤマハ発動機主催)等

運用Instagram「うとぐる」

<https://www.instagram.com/uto.guru>

◆連絡先

・企画者 吉田 裕史 (宇土市地域おこし協力隊)

携帯 070-9128-3392

メール uto.yosida@gmail.com